

抗菌・防菌・消臭剤のご提案

1

抗菌力

菌の増殖を抑制・減少させ、長時間維持する事が出来る



商品名 : Orbis(オルビス)
タイプ : 置き型タイプ
容量 : 150ml
形状 : ゲル状
成分 : 混合植物エキス・混合植物油・クロロフィリン銅複合体・塩化ベンザルコニウム・コンプレックス化イオン水・ゲル化剤

使用方法 : キャップを明け、中のアルミシートを取り出し、キャップを装着します。
抗菌・防菌・消臭したい箇所に設置します。

効果 : Orbis成分が揮発・定着し、空間やシート等を抗菌・防菌。
菌の増殖を抑制(抗菌)すると共に、外部からの菌の侵入をブロック(防菌)します。
また、幅広い消臭効果で汗・ペット臭・生臭さ・加齢臭等の不快な臭いを除去します。
Orbis本体ゲルが完全に揮発しても、成分が定着する事で長期間効果が持続します。
高濃度タイプなのでバリアガードよりも高い効果が得られます。

2

防菌力

菌を抑制する事で菌の動きを止め、外部からの菌の侵入を防ぐ

3

消臭力

幅広い消臭力があり
加齢臭・ペット・生臭さ・汗などの臭いにより効果を発揮



商品名 : バリアガード
タイプ : スプレータイプ
容量 : 150ml
形状 : 液体
成分 : 混合植物エキス・混合植物油・クロロフィリン銅複合体・塩化ベンザルコニウム・コンプレックス化イオン水

使用方法 : 抗菌・防菌・消臭したい箇所・空間に噴霧します。

効果 : 空間やシート等を抗菌・防菌。
菌の増殖を抑制(抗菌)すると共に、外部からの菌の侵入をブロック(防菌)します。
また、幅広い消臭効果で汗・ペット臭・生臭さ・加齢臭等の不快な臭いを除去します。
Orbisと併用することで、より高い効果が得られます。

Orbis性能試験データ（抗菌力・消臭力）

抗菌性能試験データ

【抗菌テスト操作】

1. Orbisを精製水で希釈し、1%、0.1%に調整する。
2. 前培養した菌液(約 10^8 個/ml) 0.1mlを、Orbisの調整液5mlに加え静かに混合、1時間放置する。
3. 1時間後、10倍段階希釈を行い、普通寒天培地にて寒天平板塗抹法により、生菌数を測定する。

*培養は、細菌類は35°C-48時間、真菌は30°C-72時間とする。

抗菌性能結果

測定値 菌数

菌名(1%)	菌数				
	初期	1時間後	2時間後	3時間後	平均
E.Coil(大腸菌)	6.8×10^6	< 10	< 10	< 10	< 10
St.aureus(ブドウ球菌)	1.2×10^5	< 10	< 10	< 10	< 10

菌名(0.1%)	菌数				
	初期	1時間後	2時間後	3時間後	平均
E.Coil(大腸菌)	6.8×10^6	< 10	< 10	< 10	< 10
St.aureus(ブドウ球菌)	1.2×10^5	< 10	< 10	< 10	< 10

【試験結果】

各菌に対し、Orbis1%・0.1%共に1時間後の生菌数は10未満で減少している。

また、1時間ごとの経過測定においても変化はみられない。

このことから、オルビスは菌数を減少させ、増殖を抑制する事が出来る。

消臭性能・比較試験データ

【試験体の種類】

1. Orbis
2. ファブリーズダブル除菌
3. バイオキーン94スポーツ用

【消臭試験の操作】

- ①各悪臭成分を、30mmを角蒸散キューブに充填し、テトラバック5ℓに装填、悪臭成分をCONTROL値まで蒸散させた後、キューブを取り除く。
- ②各試験体10mlをテトラバックにスプレー注入、1時間後の悪臭成分残存量を測定する。

消臭性能

測定値 ppm

悪臭の種類	Orbis	ファブリーズダブル除菌	バイオキーン94スポーツ用	CONTROL値
アンモニア	6.90	13.50	79.00	150
トリメチルアミン(魚貝)	2.30	9.70	79.40	150
イソ吉草酸(ペット臭・加齢臭)	0.000021	0.000035	0.000054	0.000068
ノルマル酪酸(汗)	0.000011	0.000021	0.000035	0.000053

【試験結果】

Orbisは、各試験体に対し悪臭の種類に左右されず安定した評価を得ている。

ファブリーズダブル除菌及びバイオキーン94スポーツ用と比較し優秀な消臭効果が確認できた。

*ファブリーズダブル除菌はマスキング的消臭(臭いを隠す)に偏っている。

*バイオキーン94スポーツ用は、消臭性能が弱いと判定する。